農業委員会第10回総会議事録

1. 日 時 令和6年4月12日（金）午前10時00分～午前11時58分

2. 場 所 鈴鹿市役所 本館12階 1203会議室

3. 出席委員（17人、10番は欠員）

会長	鈴木 秀	会長職務代理者	森田 昭則		
1番	前田 和幸	2番	間崎 孝至	3番	桐生 五郎
4番	渥美 利男	5番	打田 光橋	6番	浦川 広巳
7番	山中 進	8番	阪田 泰久	9番	市川 正之
12番	平子 伸	14番	上田 みね子	15番	豊田 栄美子
16番	大野 久美子	17番	小林 登志樹	19番	鈴木 啓之

4. 欠席委員（1人）

13番 稲田 利幹

5. 農地利用最適化推進委員の出席（1人）

深伊沢地区 山野 敏文

6. 事務局

農業委員会事務局 伊與田次長、坂総務GL、吉村、森
農林水産課 岡農政GL、久次米

7. 議事

第1	第1号議案	農地法第3条の規定による許可申請について（所有権）
	第2号議案	農地法第3条の規定による許可申請について（貸借権）
	第3号議案	農地法第3条の規定による許可申請について（地上権）
	第4号議案	農地法第5条の規定による許可申請について（所有権）
	第5号議案	農地法第5条の規定による許可申請について（貸借権）

第 6 号議案 農地法第 4 条許可申請の事業計画変更承認申請について

第 7 号議案 農用地利用集積計画について

報告事項第 1 号 農地法第 1 8 条第 6 項の規定による通知書について

報告事項第 2 号 使用貸借契約の解約について

報告事項第 3 号 農地法第 3 条の 3 の規定による届出について (相続等届出)

報告事項第 4 号 農地法第 4 条の規定による届出について

報告事項第 5 号 農地法第 5 条の規定による届出について (所有権)

報告事項第 6 号 農地法第 5 条の規定による届出について (貸借権)

報告事項第 7 号 非農地証明願いについて

報告事項第 8 号 取下願・取消願の承認について

報告事項第 9 号 農地法第 6 条第 1 項の規定に基づく農地所有適格法人の定期報告について

第 2 特定農地貸付の承認申請について

第 3 令和 5 年度の非農地判断について

8. 会議の概要

事務局

ただ今より、鈴鹿市農業委員会第 10 回総会を開会いたします。開会にあたりまして鈴木会長よりご挨拶をお願いいたします。

会長 (挨拶)

事務局

鈴木会長、ありがとうございました。今後の議事進行につきましても、鈴木会長にお願いいたします。

議長（鈴木秀会長）

それでは、お手元の事項書に従いまして、議事を進めてまいります。

まず、開会にあたりまして、本日の農業委員会第10回総会は、委員の過半数が出席しておりますので、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、本総会が成立しましたことを報告申し上げます。また、議事録署名者を議席番号第2番 間崎孝至様、議席番号第3番 桐生五郎様をお願い申し上げます。

それでは、議事第1 第1号議案 農地法第3条の規定による許可申請の所有権についてでございます。

議案書の1ページ、1の11番は、〇〇委員に関連する案件となりますので、農業委員会等に関する法律第31条第1項の規定により〇〇委員の退席を求めます。

〈〇〇委員 退席〉

それでは、議案について、事務局より説明いたします。

事務局

第1号議案 農地法第3条の規定による許可申請の所有権について説明いたします。

議案書1ページ、及び別表の「農地法第3条の借受・譲受人の農業経営の状況」をご覧ください。

まず、1の11番は国府地区、申請地は国府町地内、登記地目は田、現況地目は畑、面積は154㎡です。取得後は野菜を栽培するとの申請です。また、譲受人の農作業暦、労働力、通作距離、従事日数、保有農機具の状況は別表のとおりです。番号ごとに記載しておりますので都度ご参照ください。なお、新規営農者面接の対象者ですが、地区委員会において特に問題ないことを確認いただいております。

以上、申請件数は1件、耕作放棄地はなく、農作業への従事要件、地域との調和要件など、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。また、書類審査及び地区委員会による審査の結果、申請については特に問題のないものと判断しておりますので、ご審議のほど宜しく願いいたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。全員賛成でよろしいか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、この議案は全員賛成で承認といたします。

それでは、〇〇委員の着席を求めます。

〈〇〇委員 着席〉

議長（鈴木秀会長）

引き続き、残りの第1号議案につきまして、事務局より説明いたします。

事務局

第1号議案 農地法第3条の規定による許可申請の所有権について説明いたします。

まず始めに、3月総会でご審議いただいた3条の案件で、2,590 m²の農地を取得するにもかかわらず、保有農機具に農用自動車の記載しかなかった件につきまして、前回総会后、申請者に聞き取りを行いましたところ、茶狩り機を保有しているとの申告がありました。この場をお借りして報告させていただきます。ご迷惑をおかけしました。

議案書1ページ、及び別表の「農地法第3条の借受・譲受人の農業経営の状況」をご覧ください。

まず、1の12番は国府地区、申請地は国府町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は2,745 m²です。取得後は野菜、果樹を栽培するとの申請です。

続きまして、1の17番は国府地区、申請地は国府町地内、いずれも登記地目・現況地目とも畑、面積は合計308 m²です。取得後は野菜を栽培するとの申請です。なお、新規営農者面接の対象者ですが、地区委員会において特に問題ないことを確認いただいております。

続きまして、4の1番は牧田地区、申請地は岡田一丁目地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は1,737 m²です。取得後は水稲及び野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、4の4番は牧田地区、申請地は甲斐町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は1,360 m²です。取得後は水稲を栽培するとの申請です。なお、高齢者面接の対象者ですが、地区委員会において健康面等特に問題ないことを確認いただいております。

続きまして、6の14番は白子地区、申請地は白子町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は993 m²です。取得後は水稲・野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、7の18番は稲生地区、申請地は野村町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は合計2,464 m²です。取得後は水稲・野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、7の19番は稲生地区、申請地は稲生四丁目地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は350 m²です。取得後は水稲・野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、9の13番は河曲地区、申請地は国分町地内、いずれの登記地目・現況地目とも畑、面積は890 m²です。取得後は野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、11の2番は箕田地区、申請地は下箕田町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は合計3,038 m²です。取得後は水稲を栽培するとの申請です。

続きまして、11の9番は箕田地区、申請地は下箕田一丁目地内、登記地目は田、現況地目は畑、面積は合計1,761 m²です。取得後は水稲・野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、12の15番は玉垣地区、申請地は土師町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は3,113 m²です。取得後は水稲を栽培するとの申請です。

続きまして、13の3番は若松地区、申請地は若松西一丁目地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は合計147 m²です。取得後は果樹を栽培するとの申請です。なお、新規営農者面接の対象者ですが、地区委員会において特に問題ないことを確認いただい

ております。

続きまして、13の5番は若松地区、申請地は若松西三丁目地内、登記地目・現況地目とも田、面積は393㎡です。取得後は水稲・野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、13の6番は若松地区、申請地は若松西三丁目地内、登記地目・現況地目とも田、面積は合計2,639㎡です。取得後は水稲・野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、19の21番は久間田地区、申請地岸田町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は1,004㎡です。取得後は水稲・野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、22の16番は鈴峰地区、申請地は長澤町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は合計771㎡です。取得後は野菜を栽培するとの申請です。なお、新規営農者面接の対象者ですが、地区委員会において特に問題ないことを確認いただいております。

続きまして、23の10番は庄内地区、申請地は東庄内町地内、登記地目は田、現況地目は畑、面積は106㎡です。取得後は水稲・野菜を栽培するとの申請です。

続きまして、23の20番は庄内地区、申請地は東庄内町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は2,176㎡、位置図の29ページをご覧ください。こちらは営農型太陽光に伴う申請になりますので、関連する議案をまとめて説明させていただきます。別に用意してあります、営農型太陽光別表をご覧ください。

まず①の23-20は、営農型太陽光の下部で柵を栽培するための申請、23-5は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、23-6は、農地に太陽光パネルを支える支柱等を設置するための転用申請になります。営農型太陽光については、ポールが地面に接する部分のみを転用面積と考えますので、本件の場合転用面積は0.37㎡となります。パネル設置面積は、527.36㎡です。なお農地区分は、農用地と判断されます。

農用地は、転用を原則として許可しない農地ですが、一時的な利用に該当するため、例外的に許可し得るものと考えています。なお、面積についてですが、貸借は、農地全体から支柱部分を差し引いた面積で、地上権は農地全体の面積、転用は支柱部分のみの面積を対象とするものです。

以上、申請件数は18件、いずれの案件につきましても、耕作放棄地はなく、農作業への従事要件、地域との調和要件など、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。

また、書類審査及び地区委員会による審査の結果、申請については特に問題のないものと判断していますので、ご審議のほど宜しくお願いいたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました第1号議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、第1号議案は全員賛成で承認といたします。

続きまして、第 2 号議案 農地法第 3 条の規定による許可申請の貸借権について、事務局より説明いたします。

事務局

第 2 号議案 農地法第 3 条の規定による許可申請の貸借権について説明いたします。

議案書 4 ページ、及び別表の「農地法第 3 条の借受・譲受人の農業経営の状況」をご覧ください。

まず、5 の 17 番は石薬師地区、申請地は上田町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は 1,264.69 m²、位置図の 22 ページをご覧ください。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、先ほどの別表をご覧ください。まず②の 5-17 は、営農型太陽光の下部で榊を栽培するための申請、5-9 は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、5-10 は、農地に太陽光パネルを支える支柱等を設置するための転用申請になります。転用面積は 0.31 m²で、パネル設置面積は、464.39 m²です。農地区分は、農用地と判断されます。農用地は、転用を原則として許可しない農地ですが、一時的な利用に該当するため、例外的に許可し得るものと考えています。

続きまして、9 の 22 番は河曲地区、申請地は十宮町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は 1,000 m²です。取得後は水稻を栽培するとの申請です。なお、新規営農者面接の対象者ですが、地区委員会において特に問題ないことを確認いただいております。

続きまして、19 の 16 番は久間田地区、申請地は下大久保町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は 3,365.60 m²、位置図の 27 ページをご覧ください。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、先ほどの別表をご覧ください。まず③の 19-16 は、営農型太陽光の下部で榊を栽培するための申請、19-4 は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、19-5 は、農地に太陽光パネルを支える支柱等を設置するための転用申請になります。転用面積は 0.40 m²、パネル設置面積は、527.36 m²です。農地区分は、農用地と判断されます。農用地は、転用を原則として許可しない農地ですが、一時的な利用に該当するため、例外的に許可し得るものと考えています。

続きまして、20 の 11 番は椿地区、申請地は山本町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は 1,354.63 m²、位置図の 28 ページをご覧ください。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、先ほどの別表をご覧ください。まず④の 20-11 は、営農型太陽光の下部で榊を栽培するための申請、20-3 は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、20-4 は、農地に太陽光パネルを支える支柱等を設置するための転用申請になります。転用面積は 0.37 m²、パネル設置面積は、527.36 m²です。農地区分は、農用地と判断されます。農用地は、転用を原則として許可しない農地ですが、一時的な利用に該当するため、例外的に許可し得るものと考えています。

以上、申請件数は 4 件、いずれの案件につきましても、耕作放棄地はなく、農作業への従事要件、地域との調和要件など、農地法第 3 条第 2 項各号には該当しないため、

許可要件の全てを満たしていると考えます。また、書類審査及び地区委員会による審査の結果、申請については特に問題のないものと判断していますので、ご審議のほど宜しくお願いいたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました第2号議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。

森田委員

営農型太陽光別表の面積について、①は権利移転と地上権の面積が同じですが、②は貸借と地上権が異なる面積になっています。考え方を教えてください。

事務局

まず①の権利移転とは、所有権を移転しますので農地全体の面積となっています。②の貸借は、ポールを刺さない部分を借りることになりますので、ポールの面積を差し引いた面積となっています。

森田委員

貸借と権利移転の違いですね。

事務局

そうです。

議長（鈴木秀会長）

他にございませんか。別段無いようでございますので、第2号議案は、全員賛成で承認いたします。

続きまして、第3号議案 農地法第3条の規定による許可申請の地上権について、事務局より説明いたします。

事務局

第3号議案 農地法第3条の規定による許可申請の地上権について説明いたします。

議案書5ページ、及び別表の「農地法第3条の借受・譲受人の農業経営の状況」をご覧ください。

なお、先ほどまとめて説明させていただいた営農型太陽光に関する地上権については、ここでは説明を割愛させていただきます。

まず、4の18番は牧田地区、申請地は弓削町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は2,968㎡です。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、先ほどの別表の2ページ目及び位置図の20ページをご覧ください。まず⑤4-18は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、4-14は、農地に太陽光パネルを支える支柱等を設置するための転用申請になります。転用面積は4.39㎡。パネル設置面積は、1,338.07㎡で、下部では榊を栽培することです。農地区分は、農用地と判断されます。農用地は、転用を原則として許可しない農地ですが、一時的な利用に該当するため、例外的に許可し得るものと考えています。

続きまして、5の1番は石薬師地区、申請地は石薬師町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は1,227㎡です。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、先ほどの別表及び位置図の21ページをご覧ください。まず⑥の5-1は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、5-2は、農地に太陽光パネルを支える支柱等を設置するための転用申請になります。転用面積は0.45㎡。パネル設置面積は、550.97㎡で、下部では榊を栽培することです。農地区分は、農用地と判断されます。農用地は、転用を原則として許可しない農地ですが、一時的な利用に該当するため、例外的に許可し得るものと考えています。

続きまして、16の2番は天名地区、申請地は御菌町地内、登記地目・現況地目とも畑、合計面積は1,074㎡です。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、先ほどの別表及び位置図の26ページをご覧ください。まず⑦の16-2は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、16-3は、農地に太陽光パネルを支える支柱等を設置するための転用申請になります。転用面積は0.34㎡。パネル設置面積は、535.23㎡で、下部では榊を栽培することです。農地区分は、農用地と判断されます。農用地は、転用を原則として許可しない農地ですが、一時的な利用に該当するため、例外的に許可し得るものと考えています。

続きまして、20の7番は椿地区、申請地は大久保町地内、登記地目・現況地目とも畑、合計面積は1,372㎡です。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、さきほどの別表をご覧ください。まず⑧の20-7は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、20-5は、営農型太陽光パネル設置用地として令和5年10月18日付け第505-8-16号で許可いたしました第6号議案の事業計画の変更申請です。申請内容は、発電設備設置者を〇〇〇〇から〇〇〇〇に変更するもので、発電設備は設置済みで、周辺農地への支障がないことを確認しております。

続きまして、20の13番は椿地区、申請地は大久保町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は727㎡です。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、さきほどの別表をご覧ください。まず⑨の20-13は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、20-4は、営農型太陽光パネル設置用地として令和5年10月18日付け第505-8-15号で許可いたしました第6号議案の事業計画の変更申請です。申請内容は、発電設備設置者を〇〇〇〇から〇〇〇〇に変更するものです、発電設備は設置済みで、周辺農地への支障がないことを確認しております。

続きまして、22の6番は鈴峰地区、申請地は長澤町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は3,152㎡です。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、さきほどの別表をご覧ください。まず⑩の22-6は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、22-1は、営農型太陽光パネル設置用地として令和5年10月18日付け第505-8-12号で許可いたしました第6号議案の事業計画の変更申請です。申請内容は、発電設備設置者を〇〇〇〇から〇〇〇〇に変更するもので、発電設備は設置済みで、

周辺農地への支障がないことを確認しております。

続きまして、22の15番は鈴峰地区、申請地は長澤町地内、登記地目・現況地目とも畑、合計面積は925㎡です。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、先ほどの別表をご覧ください。まず⑪の22-15は、農地の上部で発電をするための地上権の申請、22-3は、営農型太陽光パネル設置用地として令和5年10月18日付け第505-8-14号で許可いたしました第6号議案の事業計画の変更申請です。申請内容は、発電設備設置者を〇〇〇〇から〇〇〇〇に変更するものです。発電設備は設置済みで、周辺農地への支障がないことを確認しております。

続きまして、22の19番は鈴峰地区、申請地は伊船町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は2,517㎡です。こちらも営農型太陽光に伴う申請になりますので、さきほどの別表をご覧ください。まず⑫の22-19は、農地の上部で発電をするための地上権の申請になります。22-2は、営農型太陽光パネル設置用地として令和5年10月18日付け第505-8-13号で許可いたしました第6号議案の事業計画の変更申請です。申請内容は、発電設備設置者を〇〇〇〇から〇〇〇〇に変更するとともに、パネル下部で栽培する作物をブルーベリーからユーカリに変更するものです。作物の変更した理由は、地元の農業委員より、同エリアが獣害に合いやすく、果樹栽培に適さないとの助言があったためです。ユーカリの栽培については、知見を有する者の意見書が添付されており、生育に影響がないことを確認しております。また、発電設備は設置済みで、周辺農地への支障がないことを確認しております。

なお、地上権の設定になりますが、地上権等の設定に伴う農地法第3条第1項の許可については、農地法第3条第2項ただし書の規定により、同項各号の要件は満たす必要はありませんが、権利が設定される農地及びその周辺の農地に係る営農条件に支障を生ずるおそれがなく、当該農地をその目的に供する行為の妨げになる権利を有する者の同意を得ていると認められる場合に限り許可するものとされています。今回の申請は、すべて地上権設定の妨げとなる権利を有する所有権者と連名でされていますので問題ありません。

以上、申請件数は12件、農地法第3条第2項ただし書きの地上権が設定される場合に該当し、許可できるものと考えます。また、書類審査及び地区委員会による審査の結果、申請については特に問題のないものと判断していますので、ご審議のほど宜しくお願いいたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました第3号議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。

鈴木啓之委員

農地を取得したら3年3作しなければいけないという縛りは無くなったのか。

事務局

無くなりました。

鈴木秀会長

地上権設定の案件が多いですが、地上権を設定したメリットは何がありますか。

営農型太陽光は、毎年栽培計画とか耕作の状況を報告するようになりましたが、報告をしなくていいのですか。

事務局

地上権の設定者と転用行為者はほぼ同じです。転用するためには、上のパネルで空中を使う権利を得ないといけないので、セットになっています。地上権を取得する業者は転用もしますので、報告をする必要があります。

森田委員

通常、地上権は登記事項だったと思います。そうすると、次の転用の更新時には、地上権は出てこないということですね。

事務局

基本的には、同じタイミングで、セットで出していただくことになると思います。今回の申請もすべて期間 10 年間となっていますので、延長する時は、もう一度同じ申請をしていただくことになります。

豊田委員

太陽光の申請が増えてきましたので、太陽光発電について、詳しい方の話を聞いて勉強したいと思います。心配です。

議長（鈴木秀会長）

他によろしいですか。別段無いようでございますので、第 3 号議案は、全員賛成で承認いたします。

続きまして、第 4 号議案 農地法第 5 条の規定による許可申請の所有権について、事務局より説明いたします。

事務局

第 4 議案 農地法第 5 条の規定による許可申請の所有権について説明致します。

議案書 7 ページ、及び先ほどご覧いただいた位置図の続き 6 ページ目をご覧ください。

まず、3 の 2 番は加佐登地区、申請地は高塚町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は 1,322 m²です。申請内容は、当該地を太陽光パネル設置用地とするものです。パネル設置面積は、435.02 m²です。農地区分は、第 2 種農地と判断されます。

続きまして、3 の 5 番は加佐登地区、申請地は高塚町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は 732 m²です。申請内容は、当該地を社会福祉施設用地（グループホーム）とするものです。受人は、市内で障害福祉サービス事業などを経営しており、当該地周辺での利用者が見込まれるため、今般新たに転用するものです。農地区分は、第 2 種農地と判断されます。

続きまして、6の13番は白子地区、申請地は白子町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は1,036㎡です。申請内容は、当該地を太陽光パネル設置用地とするものです。パネル設置面積は、600.39㎡です。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、10の3番は一ノ宮地区、申請地は北長太町地内、登記地目・現況地目とも田、面積は585㎡です。申請内容は、当該地を資材置場用地とするものです。受人は、中古ドラム缶の販売を行っておりますが、自社専用の保管場所を有していないことから、今般新たに転用するものです。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、11の8番は箕田地区、申請地は林崎一丁目地内、登記地目・現況地目とも畑、合計面積は合計454㎡です。申請内容は、当該地を分家住宅用地とするものです。農地区分は、第1種農地と判断されます。第1種農地は、転用を原則として許可しない農地ですが、集落に接続して設置される住宅に該当するため、例外的に許可し得るものと考えています。

続きまして、12の9番は玉垣地区、申請地は肥田町地内、登記地目・田、現況地目・雑種地、面積は512㎡です。申請内容は、当該地を駐車場用地とするものです。受人は、作物の生産及び販売等を行う事業を行っており、会社車両の駐車場が必要となったことから、新たに転用したもので、平成30年頃より、同用途で利用している旨の始末書が提出されておりますことから、これを追認するものです。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、12の14番は玉垣地区、申請地は矢橋町地内、登記地目・現況地目とも田、合計面積は2,596㎡です。申請内容は、当該地を太陽光パネル設置用地とするものです。パネル設置面積は、1,526.40㎡です。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、16の1番は天名地区、申請地は御菌町地内、登記地目・田、現況地目・畑、面積は506㎡です。申請内容は、当該地を資材置場用地とするものです。受人は、電気工事業などを行っておりますが、既存の資材置場が使えなくなるため、今般、同地を新たに転用するものです。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、22の6番は鈴峰地区、申請地は小岐須町地内、登記地目・田、現況地目・畑、面積は694㎡です。申請内容は、当該地を太陽光パネル設置用地とするものです。パネル設置面積は、487.4㎡です。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、22の10番は鈴峰地区、申請地は小岐須町地内、登記地目・現況地目ともに田が1筆、ともに畑が1筆、合計面積は1,169㎡です。申請内容は、当該地を太陽光パネル設置用地とするものです。パネル設置面積は、366.32㎡です。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、22の11番は鈴峰地区、申請地は小岐須町地内、登記地目、現況地目とも畑、合計面積は766㎡です。申請内容は、当該地を太陽光パネル設置用地とするものです。パネル設置面積は、274.74㎡です。農地区分は、第2種農地と判断されま

す。

続きまして、22の12番は鈴峰地区、申請地は小岐須町地内、登記地目・田、現況地目・田、面積は654㎡です。申請内容は、当該地を太陽光パネル設置用地とするものです。パネル設置面積は、274.74㎡です。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、23の4番は庄内地区、申請地西庄内町地内、登記地目・現況地目とも畑、合計面積は855㎡です。申請内容は、当該地を太陽光パネル設置用地とするものです。パネル設置面積は、329.39㎡です。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、23の7番は庄内地区、申請地は東庄内町地内、登記地目：畑、現況地目：雑種地、面積は684㎡です。申請内容は、当該地を運動場用地とするものです。受人は同地で保育園を運営しておりますが、慢性的に園庭が不足していたことから、運動場用地として転用したもので、平成17年頃より、同用途で利用している旨の始末書が提出されておりますことから、これを追認するものです。農地区分は、第1種農地と判断されます。第1種農地は、転用を原則として許可しない農地ですが、既存敷地の拡張に該当する為、例外的に許可し得るものと考えております。なお本件は、後に説明いたします、農地法第5条の貸借権23の13番と一体で転用するものとなっております。

以上、申請件数は13件、農地法第5条第2項各号には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。また、書類審査及び地区委員会による審査の結果、申請については特に問題のないものと判断しておりますので、ご審議のほど宜しくお願いいたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました第4号議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、第4号議案は、全員賛成で承認といたします。

続きまして、第5号議案 農地法第5条の規定による許可申請の貸借権について事務局より説明いたします。

事務局

第5号議案 農地法第5条の規定による許可申請の貸借権について説明致します。

議案書10ページ、及び別紙の位置図の続き23ページ目をご覧ください。なお、すでに営農型太陽光として、まとめて説明させていただいた貸借権については、ここでは説明を割愛させていただきます。

まず、5の11番は石薬師地区、申請地は石薬師町地内、登記地目・現況地目とも畑、面積は424㎡です。申請内容は、当該地を農家住宅用地とするものです。農地区分は、第2種農地と判断されます。

続きまして、9の12番は河曲地区、申請地は国分町地内、登記地目・現況地目とも

畑、合計面積は 240 m²です。申請内容は、当該地を分家住宅用地とするものです。農地区分は、第 2 種農地と判断されます。

続きまして、15 の 1 番は栄地区、申請地は磯山町地内、登記地目・現況地目とも畑、合計面積は 576 m²です。申請内容は、当該地を農家住宅用地とするものです。農地区分は、第 2 種農地と判断されます。

23 の 13 番は庄内地区、申請地は東庄内町地内、登記地目：畑、現況地目：雑種地、面積は 557 m²です。申請内容は、当該地を運動場用地とするものです。受人は同地で保育園を運営しておりますが、慢性的に園庭が不足していたことから、運動場用地として転用したもので、平成 17 年頃より、同用途で利用している旨の始末書が提出されておりますことから、これを追認するものです。農地区分は、第 1 種農地と判断されます。第 1 種農地は、転用を原則として許可しない農地ですが、既存敷地の拡張に該当する為、例外的に許可し得るものと考えております。なお本件は、先に説明いたしました、農地法第 5 条の所有権 23 の 7 番と一体で転用するものとなっております。

以上、申請件数は 11 件、農地法第 5 条第 2 項各号には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。また、書類審査及び地区委員会による審査の結果、申請については特に問題のないものと判断していますので、ご審議のほど宜しく願います。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました第 5 号議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、第 5 号議案は、全員賛成で承認といたします。続きまして、第 6 号議案 農地法第 5 条許可申請の事業計画変更承認申請について、事務局より説明いたします。

事務局

第 6 号議案 農地法第 4 条の規定による許可申請の事業計画変更承認申請について説明致します。

総会議案書 12 ページをご覧ください。

なお、事業計画変更申請については、すでに営農型太陽光として、すべて説明させていただきましたので、ここでは説明を割愛させていただきます。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました第 6 号議案につきましては、すべての案件が先に説明があった営農型太陽光に関する案件とのことですが、何かご意見ご異議ございませんか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、第 6 号議案は、全員賛成で承認といたします。

続きまして、第7号議案 農用地利用集積計画について、でございます。農用地利用集積計画（案）の7ページ22番は、〇〇委員に関連する案件となりますので、農業委員会等に関する法律第31条第1項の規定により、〇〇委員の退席を求めます。

〈〇〇委員 退席〉

それでは、議案について、事務局より説明いたします。

事務局

第7号議案 農用地利用集積計画について、A4横別冊の農用地利用集積計画書により説明します。

計画書7ページ目22番は、石薬師地区で米15kgの物納です。

以上の内容は、従事日数など、令和5年4月1日改正による農業経営基盤強化促進法附則第5条の規定に基づく改正前の同法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。また、すべてで権利関係者が合意しており、かつ地区委員会でも審議いただき承認されております。なお、附則第5条には、施行後2年間は従前の例によることができる旨規定されていることを申し添えます。以上、ご審議のほど、よろしくお願いたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、この議案は、全員賛成で承認といたします。

それでは、〇〇委員の着席を求めます。

〈〇〇委員 着席〉

議長（鈴木秀会長）

引き続き、農用地利用集積計画（案）の19ページ61番は、〇〇委員に関連する案件となりますので、農業委員会等に関する法律第31条第1項の規定により、〇〇委員の退席を求めます。

〈〇〇委員 退席〉

それでは、議案について、事務局より説明いたします。

事務局

計画書19ページ目61番は、栄地区で使用貸借です。以上、ご審議のほど、よろしくお願いたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、この議案は、全員賛成で承認といたします。

それでは、〇〇委員の着席を求めます。

〈〇〇委員 着席〉

議長（鈴木秀会長）

引き続き、残りの第7号議案につきまして、事務局より説明いたします。

事務局

計画書の最初のページに戻ってください。

計画書1ページ目は、国府地区です。1番は、使用貸借です。2番は、米10kgの物納です。

2ページ目は、庄野地区です。3番は使用貸借です。4番は米20kg相当の金納です。5番は米25kgの物納です。

3ページ目は、加佐登地区です。6番、7番は、使用貸借です。

4ページ目からは、牧田地区です。8番は、使用貸借です。9番は、中間管理機構を通した6千円の金納です。10番は、米45kg相当の金納です。11番は、米10kg及び30kgの物納です。12番、13番は、中間管理機構を通した米20kgの物納です。14番は、米20kgの物納です。15番は、中間管理機構を通した米10kg、20kg、30kg及び40kgの物納です。16番は、中間管理機構を通した米10kg及び30kgの物納です。17番、18番は、米40kgの物納です。19番は、米35kgの物納及び使用貸借です。

7ページ目からは、石薬師地区です。20番、21番は、使用貸借です。

8ページ目からは、白子地区です。23番は、使用貸借です。24番は、解除条件付きの米15kgの物納です。25番、26番は、解除条件付きの米15kg相当の金納です。27番から30番は、解除条件付きの米15kgの物納です。31番は、解除条件付きの米20kgの物納です。

11ページ目からは、飯野地区です。32番は、使用貸借です。33番は、米30kgの物納です。34番は、使用貸借です。35番、36番は、米35kgの物納です。37番は、米15kg相当の金納です。38番は、米40kgの物納です。39番は、米35kg及び25kgの物納です。40番は、米10kg相当の金納です。41番は、米25kg、30kg及び50kgの物納です。

13ページ目から番は、河曲地区です。42番は、使用貸借です。43番は、5kg、25kg、35kg及び50kgの物納です。44番、45番は、米30kgの物納です。46番は、米50kgの物納です。47番、48番は、米30kgの物納です。

15ページ目からは、一ノ宮地区です。49番から51番は、米50kgの物納です。52番は、米35kgの物納です。

16ページ目からは、箕田地区です。53番、54番は、米25kgの物納です。55番は、米10kg、25kg、35kg及び50kgの物納です。56番は、米25kg相当の金納です。

17ページ目からは、玉垣地区です。57番は、中間管理機構をとおした使用貸借です。58番は、中間管理機構をとおした米10kgの物納です。59番は、米25kg及び10

kgの物納です。

18 ページ目は、若松地区です。60 番は、米 25 kgの物納です。

20 ページ目は、合川地区です。62 番は、使用貸借です。63 番は、米 30 kgの物納です。

21 ページ目からは椿地区です。64 番から 67 番は、使用貸借です。68 番は、5 千円の金納です。

22 ページ目からは深伊沢地区です。69 番、70 番は、1 万円の金納です。

23 ページ目からは、鈴峰地区です。71 番から 76 番は、使用貸借です。77 番は、2 万円の金納です。78 番は、1 万 5 千円の金納です。79 番は、5 千円の金納です。

以上、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました第 7 号議案につきまして、何かご意見ご異議ございませんか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、第 7 号議案は全員賛成で承認といたします。

続きまして、報告事項に移らせていただきます。報告事項第 1 号から第 9 号につきまして一括して事務局より説明いたします。

事務局（議案書説明）

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました報告事項第 1 号から第 9 号の案件は、すべて書類内容等も完備しておりますので、報告といたします。

報告事項につきまして、ご質問等ございませんか。

議長（鈴木秀会長）

別段無いようでございますので、報告事項を終了します。

続きまして、議事第 2 特定貸付の承認申請について事務局より説明いたします。

事務局

特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律に基づく、特定農地貸付けの申請、いわゆる、ふれあい農園の開設について、ご説明します。お手元の資料をご覧ください。

まず、特定農地貸付けについてご説明させていただきます。資料 1 の特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律の概要をご覧ください。1 の趣旨をご覧ください。法律の趣旨は、趣味的な利用を目的とした農地の貸付けについて、農地法等に関する特例措置で、市民農園を開設し、利用者に貸し付けるための法律です。

2 の (1) をご覧ください。特定農地貸付けは、次に掲げる要件に該当するものをいいます。一つ目は、10 アール未満の農地の貸付けで相当数の者を対象として定型的条件で行われること。二つ目は営利を目的としない農作物の栽培の用に供するための農

地の貸付けであること。三つ目は、貸付期間が5年を超えないこと。となっております。

(3) の①をご覧ください。この特定農地貸付けを行おうとするときは、農業委員会の承認が必要になっております。農業委員会の申請に対する承認要件としましては、周辺の地域における農用地の農業上の効率的かつ総合的な利用を確保する見地からみて農地が適当な位置にある等、一定の要件に該当する場合は承認いただくこととなっております。

では、今回のふれあい農園の開園の申請の内容についてご説明いたします。申請者は農地所有者、〇〇〇〇さん。申請農地は国府町4093番地と4082番地です。面積は132㎡・267㎡、登記地目は畑、現況地目は畑です。特定農地貸付規定並びに特定農地貸付の用に供する農地の位置図は資料のとおりです。

今回の申請につきましては、農業委員会の承認要件に該当しており、また、ふれあい農園に関する貸付規程についても適当であると考えられます。なお、地区委員会では既にご審議いただき承認されております。以上、ご審議のほど、宜しくお願いします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局から説明がありました議事第2につきまして、何か、ご意見ご異議ございませんか。

浦川委員

要件で、10アールを超えたらどうなりますか。

事務局

1区画が10アールを超えなければ大丈夫です。

議長（鈴木秀会長）

他によろしいですか。別段無いようでございますので、議事第2は、全員賛成で承認いたします。

次に、議事第3 令和5年度の非農地判断について、事務局より説明いたします。

事務局

非農地判断につきましては、3月の総会で、手続きの流れや各地区への今後の意向を確認するアンケートについて、説明させていただきました。本日は、令和5年度の非農地判断について、審議をお願いするものです。

資料2-1 をご覧ください。これまでの非農地判断の実績でございます。平成30年度9筆11,330㎡、令和元年度260筆99,149㎡、令和2年度68筆25,118㎡、令和3年度48筆39,401㎡、令和4年度90筆36,009㎡、合計しますと475筆211,007㎡を非農地と判断し、土地所有者などへ通知を行い、農地台帳の整理を行いました。

それでは、資料2-2の、農地・非農地の判断対象地リストをご覧ください。合川地区は、14筆11,962㎡、庄内地区は、3筆600㎡、合計としましては、17筆12,562

m²が、今回の対象地となります。

昨年の夏に各地区に実施いただきました、利用状況調査の結果に基づき、合川地区と庄内地区で、非農地判断の対象農地の審議が行われ、事務局と調整を行ってまいりました。そして、今年の2月2日に、鈴木会長、森田会長職務代理、連絡協議会の久保田会長、大塚副会長、事務局、そして、合川地区の案件には、合川地区の真弓会長と中尾地区委員、庄内地区の案件には、庄内地区の大石会長と山田地区委員に参加いただき、現地確認を実施しました。

資料2-2のリストと共に、資料2-3の位置図などの資料を、併せてご覧ください。

まず、合川地区、三宅町の位置図①です。こちらは広域をお示ししたものとなります。国道306号沿い、南側の山間地、鈴鹿ツインサーキットとモーターランド鈴鹿の間となります。対象地は、三宅町〇〇〇〇ほか13筆、11,962 m²となります。

次のページの位置図②は、対象地の拡大図と、先程のリストの番号とリンクする番号を示しています。次のページは航空写真です。ご覧のとおり、対象地は、東西を山林で挟まれた農地となります。次のページ位置図③は、写真の撮影位置を示した位置図となり、次のページの写真番号とリンクする形となっていますので、併せてご覧ください。対象地は、荒廃してしまっていて、周辺を山林に囲まれている状況から、農地として復元しても継続して利用することが困難な状態となっています。

次に庄内地区、西庄内町です。資料2-4が、広域をお示しした位置図④となります。場所は、西庄内町のホテルの里から、西側の集落を抜けた傾斜地で、対象地は、西庄内町〇〇〇〇ほか2筆、600 m²です。次のページは、拡大した位置図⑤です。先程と同じように、リストと関連するように、対象となる農地の通し番号が入っています。次が航空写真で、周囲は、耕作放棄地が、連続する一連の農地であることがわかります。次に、写真の撮影方向を示した位置図⑥と、その後は、一連の写真となります。ご覧のように、周囲の状況からみて、その土地を農地として復元しても継続して利用することが困難と見込まれることから、非農地と判断をしたいと考えております。

また、3月19日に開催されました地区委員会連絡協議会におきましても、意見聴取をいたしましたが、特に意見は、ございませんでした。皆様には、航空写真などの資料をご確認いただき、非農地判断するにあたりご意見を、お伺いしたいと思います。

今後の予定としましては、本日の総会で、非農地で判断されましたら、土地所有者又は管理者へ非農地通知書を発送し、法務局において登記地目の変更登記を行うよう要請します。その他、関係機関として、市の資産税課と法務局へ非農地通知一覧表を送付します。

また、農業委員会としては、非農地判断を行った農地の農地台帳の整理を行います。

以上が、今回の非農地判断の説明となります。よろしくお願いたします。

議長（鈴木秀会長）

ただ今、事務局より非農地判断について、説明がありました。

3月の地区委員会連絡協議会においても、特に意見はなかったとのことですが、この件につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

山中委員

非農地扱いされますと、固定資産税はどうなりますか。

事務局

現況課税と聞いていますので、基本的には変わらないと思います。

小林委員

今回の非農地判断対象地の周りも同じような状況になっていると思いますが、周りの土地は、まだ農地なんですか。

事務局

毎年、計画的に非農地判断を行っていますので、過去に非農地判断を行った土地がございました。

渥美委員

地権者にとって、非農地判断をするメリットとデメリットは。また、鈴鹿市農業委員会にとって非農地判断をした農地のリストを作成する目的はなんですか。

事務局

資料は前回の総会で国の通知を見ていただきましたが、耕作されずに山林化している農地は非農地判断をするよう通知が出ています。また、地権者にとっては、非農地判断をすることで、転用時に農地法の手続きが必要なくなるというメリットがあります。

議長（鈴木秀会長）

他にございませんか。別段ないようでございますので、議事第3は、全員賛成で承認いたします。

以上で、本日の議事は、すべて終了いたしました。